



BOYO

2016年 8月1日

第1号

《発行責任者》

望洋会会長：中川 義昭



『変わります！望洋会』

望洋会会長 中川 義昭

暑中お見舞い申し上げます。短冊に歌や詩を書いて、思いを願った七夕も終わり、花火に風鈴、夏祭りとも風流な季節になって参りましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回、会報誌『BOYO』を制作、発刊する事となりました。ご存知の事と思いますが、一年前より望洋会の改革を進めております。

先輩達が培ってきた事を大事にしつつ、時の流れに即した活動等、将来に向かって一つひとつ築き上げて行きたいと思っております。これからは、この会報誌『BOYO』を中心に、会員の皆様方に学校案内や子供たちの活動、それから進路に対する親からの気持ち等、何でも構いませんので、ご意見ご要望をお寄せ下さい。例えば、

『東海大学付属望洋高等学校』

『東海大学付属市原望洋高等学校』に変わりました。今までの校名に“市原”という地名が入りました。これは東海大学の付属校が、校名に所在地を入れる様、大学からの方針によって変更になりました。

11月12日『東海大学付属市原望洋高等学校30年記念式典』が開催されます。

この様な形でご案内等を含めて進めていきたいと思っております。若い方達を中心にして活動をしていきますので、是非、「一読頂き、お付き合い頂きます様、宜しくお願い致します。」



『新たな学校改革』

東海大学付属市原望洋高等学校校長 黒坂 道生

望洋会の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。お子さんの卒業後も、長きにわたり本校を応援し、貴重なご意見を下さる望洋会の皆様は、本校にとってかけがえのない大切な存在です。その皆様方が、この度、望洋会会報誌を創刊されました事、誠にありがとうございます。望洋会の中川義昭会長をはじめとする役員の皆様には、会報誌創刊のご尽力に厚くお礼申し上げます。この会報誌を通して、望洋会と本校の情報が皆様に発信されて、望洋会の益々の発展と、本校の様々な活動の活性化に繋がることを願っております。

今年度、本校は開校30周年を迎え、これを機に新たな学校改革に取り組んでいきます。第1は、「東海大学付属市原望洋高等学校」への校名変更です。地域の皆様から、誇りに感じていただける存在を目指して、校名に所在地の市原を入れ、地域を代表するに相応しい名称に変更しました。第2に、更に充実した授業体制を図るために、新入生から週6日制に移行し、新しいカリキュラムでの授業を開始しました。第3に、全学年2学期制から3学期制に移行し、教育範囲の細分化を図って密度の高い教育を展開していきます。第4に、夏休み期間を中心に、教室棟の3号館校舎のリニューアル工事を実施し、施設・設備の充実を図ります。第5に、新入生から機能性を重視した新しい制服を採用し、東海大学付属市原望洋高等学校の新たなイメージを発信していきます。

本校がこの市原市の地で、今後も学習指導、生徒指導、部活動指導等で、東海大学の付属高校だからこそできる特色ある学校づくりを目指して、全教職員一丸となって毎日の教育活動に取り組みで参ります。これまで同様、望洋会の皆様にはご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東海大学近況報告

『熊本地震』

東海大学湘南校舎では熊本地震の犠牲者を悼み『半旗』を掲げています。



7月1日熊本校舎で黙祷する農学部(上)の学生

半旗を掲げる湘南校舎(右)阿蘇校舎は立入禁止(左)



土砂崩れ箇所に電気柵を設置する職員(左)



農学部は4月15日から講義を休講。復旧の見通しが立たないため、7月1日より熊本校舎で授業を再開しました。

『東海大学職員懸命の世話』

被害の影響で飼育環境は厳しい。牧草地の土砂も崩れたため、急きよ、牛が転落しないよう電気柵を設置しました。

豚舎担当の職員は「動物の姿に勇気をもたらした。動物と学生がいてこそ大学の牧場。学生が戻るまでしっかりとしないと」と自分に言い聞かせていた。(西日本新聞より一部抜粋)



懸命に動植物の世話をする教職員(上下)



◎東海大学トピックス

・東海大学医学部が志願倍率85倍でダントツトップ！東海大学医学部の倍率は東大並です。



・大学世界ランキングで東海大学は私立大学の五大学に入りまし

た。日本の私立大学は、早稲田大学、慶應大学、東京理科大学、近畿大学、東海大学でした。

市原望洋高等学校近況報告

◎生徒数

一年男子 196名
 女子 107名
 二年男子 229名
 女子 89名
 三年男子 233名
 女子 119名
 総数 973名
 (2016年4月現在)

◎教職員の異動状況

*退職 土井美智子(家庭)、石山達也(数学)、荒金孝幸(数学)、武田純(英語)、森脇拓真(国語)、常泉直樹(数学)、小出雄大(保体)
 ※転入 山田剛(保体)、大澤泉(英語)、石井勇人(保体)、大橋謙一(国語)、岩崎愛(数学)、本道修平(数学)、梁川厚行(数学)、嵯峨麻子(家庭)、高澤英子(家庭)、山家京子(家庭)、木村みさこ(実習助手)

◎部活動報告(運動部)

○野球部
 「春期高校野球県大会」優勝！
 群馬県で行われた関東大会ベスト8

○陸上競技部

総合体育大会結果
 男子 4x100mリレー優勝
 女子 400m優勝
 関東高等学校陸上競技大会に出場。
 男子 4x100mリレー 5位
 女子 200m 3位
 女子 400m 2位

○女子剣道部

関東高等学校剣道大会に初出場決定！

○射撃部

チームピストル男女共に個人準優勝
 2名関東大会出場し、女子個人の部第5位入賞。

○サッカー部

関東高校体育大会県予選ベスト16



2015年度望洋会活動報告

◎望洋総会

5月9日(土) 於・五井グランドホテル
39名出席のもと、慎重審議が行われました。



◎代表役員会

4月8日(水) 於・久松本店
代表役員14名の参加のもと、
1年間の事業計画・予算について協議されました。

◎親睦スポーツ大会

10月3日(土)
和気あいあいソフト
ボールが行われました。望洋会はなんと、
3位でした!



◎後援会・望洋会合同「暑気払い」

7月3日(金)
於・五井グランドホテル



【韮山反射炉】



◎研修旅行 10月17(土)・18日(日)

伊豆方面、修善寺泊 世界遺産「韮山反射炉」見学



◎ゴルフコンペ

『望洋杯』11月23日(月)
於・房総カントリー
後援会、望洋会、企業の方々
と楽しく交流しました。



◎卒業式 2016年3月5日(土)

於・松前記念講堂
327名を厳かに送り出しました。
新たな目標に向かってスタートです。

2016年度望洋会活動報告

◎代表役員会

4月13日(水)於・久松本店
代表役員・学校関係者23名出席のもと、開催されました。
2016年度の望洋会活動の方向性を決める大切な会合です。
今年度は4部会を中心とする新しい活動が現在進行形です。



◎入学式4月5日(火)
於・松前記念講堂
リニューアルして気品に満ちた制服を着た303名の新入生をお迎えしました。



◎会場には生徒や望洋会の活動の様子が分かるパネルの展示が行われ、穏やかな雰囲気で開催されました。

◎望洋会総会 5月14日(土)於・五井グランドホテル



～健康体操～



◎活動方針・計画が慎重審議

※今後の活動予定のご案内

月 日	内 容
9月24日(土)・25日(日)	研修旅行(後日ご案内)
10月29日(土)・30日(日)	建学祭(バザー)
11月12日(土)	30周年記念式典
11月19日(土)	親睦スポーツ大会
11月23日(水・祝)	望洋杯ゴルフコンペ
3月4日(土)	卒業証書授与式
4月上旬	入学式
5月(未定)	望洋会総会



◎受付・義援金募集

◎中川会長の提案のもと、熊本地震への義援金募集のご協力をお願いしました。出席会員の温かいお心が74,114円集まりました。
望洋会からの100,000円を合わせ、174,114円を黒坂校長に直接お渡ししました。

◎望洋会・後援会合同

「暑気払い」7月8日(金)

於・五井グランドホテル



編集後記

初めて望洋会の会報誌を発行するに際し、市原望洋高校の歴史の長さ・深さ、関係者の多さに心が震える思いでした。

また会報誌に着手しているさなかにも、野球部の関東大会の取材や各大会応援をし、生徒の活躍を目の当たりにして参りました。

これからも望洋会の活動、母校の活躍が届けられるようご協力させて頂きます。

(編集・広報部・嗚呼ピリバンバン一同)